



第二ぎんなん便り

社会福祉法人
熊本市手をつなぐ育成会
第二ぎんなん作業所
令和3年5月28日発行
第420号



【就任のあいさつ】
施設長 松永 行弘

このたび5月1日付けで第二ぎんなん作業所勤務となりました。微力ながら新任務に専心努力する所存です。何卒一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。
「手をつなぐ育成会」に関わることができ喜びをかみしめるとともに責任の重さをひしひしと感じています。一日も早く仕事に慣れ、皆様のご期待に沿えるよう一所懸命に精進していこうと思っています。

私は学生時代、運動することが大好きでいろいろなスポーツに取り組んでいました。球技は全種目をこなし、陸上や水泳にも挑戦していました。特に野球に興味をもった訳ですが、最大の魅力は「打つ・投げる・走る」ことでいくつもの運動要素が含まれているからです。毎日の厳しい練習を楽しく頑張っていました。何事にも楽しく行動することが得意です。私のモットーは「一球入魂」・「フルスイング」です。また、私を「ウサギさんとカメさん」の話に例えるならば、物事を器用にこなすことが少々苦手なカメだと思っています。ただ、何でもこつこつと続けることは得意中の得意です。総合力（体力・忍耐力・集中力等）で最後は、ウサギさんを必ず追い越すという気持ちでいつも頑張っています。

5月に入り新緑鮮やかな季節となりましたが、すぐ梅雨入りしぐずついた天気が続いています。体調を崩さないよう気をつけています。コロナウイルスは再び勢いが増してきた、変異株も新たな脅威となってきました。熊本県もリスクレベルが上がり、政府が緊急事態宣言に準じた「まん延防止等重点措置」を県内に適用し、注意を一層高めているところです。一日も早くコロナが収束し、安心して過ごすことができるよう切に願っています。
ところで、5月3日は「憲法記念日」で

した。日本の国が平和で、みんなが楽しく暮らせるようにいろいろな約束を決めた日です。その約束の中で、大事なことは「人は人らしく生きる権利がある」という約束です。この約束はすべての人が守らなくてはいけないとても大切な約束です。「人は人らしく」ということは、お互いの良さを認め合うということです。みんなそれぞれ得意なことや苦手なことが異なっています。生活の仕方や考え方、趣味などどれも異なっています。このような違いをお互いに認め、尊重することが大切です。みんな自由に物事を考えたり、行動したり、感じたりしてそれらを多くの人に伝えていきたいと考えています。

井芹前施設長から「毎日が楽しいですよ」と説明がありましたが、まさにその言葉通りでした。利用者さんとスタッフとの距離が近く、和気あいあいとした雰囲気を感じました。多くの方々の手で築き上げられた歴史のある第二ぎんなん作業所を、利用者さんや家族の方々ができる場として、更に「地域に根差した利用者本位の作業所」を守り継いでいきたいと思っています。ぜひ、ご協力いただきますようお願いいたしまして就任のあいさつとします。

【PCR検査（3回目）】



新型コロナウイルスが終息せず、まだまだ心配な日が続いていますが、熊本県は「ステージ4」を維持すると発表しました。これからも更に基本的な感染防止対策（マスク着用、手洗い、うがい、消毒、3密<密閉・密集・密接>回避、検温の実施等）の徹底を再度確認していきます。

職員（10名）のPCR検査を5月21日に実施しました。唾液採集でできる簡単な検査です。3回目ということと比較的スムーズにできました。翌週には検査結果が届き、全員陰性の結果で安心しました。

感染拡大防止のため、みなさんのご協力をよろしくお願い致します。